



## 【1】 一種研開催報告

2026年4月の一種研を4月9日(木)～10日(金)の2日間にわたって大阪大学中之島センターで開催しました(写真1)。今回は、一般講演4件、AP研/EMT研/URSI-B連携セッション 未来を切り開くアンテナ・伝播電磁界シミュレーション オーガナイズドセッション11件、IEEE AP-S Kansai Joint Chapter特別講演1件、AP研チュートリアル講演1件で、合計17件の講演がありました。

AP研/EMT研/URSI-B連携セッション 未来を切り開くアンテナ・伝播電磁界シミュレーション オーガナイズドセッションでは、オーガナイザーである有馬先生(東京農工大)と今野先生(東北大)のご尽力により、量子計算や機械学習の他、幅広い分野でのシミュレーションに関する発表が集まりました。来年の2027年4月から、正式にEMT研と共催となることが決まっています。

IEEE AP-S Kansai Joint Chapter特別講演では、広島工業大学の丸山珠美先生に「ワイヤレス電力伝送に関する研究より、八木宇田アンテナからの構想による、受電導波一体型レクテナアレーについて」と題して講演いただきました(写真2)。ワイヤレス電力伝送の研究を始めた経緯やレクテナアレーの研究の変遷について紹介いただきました。整流ダイオードにLEDを接続したレクテナは、簡単に作れて、電力伝送を発光によって確認できるので、特に学生にとってはとても興味のある取り組みやすい研究と感じました。

AP研チュートリアル講演では、大阪大学の牛尾知雄先生に「フェーズドアレイ気象レーダの研究開発と防災への応用」と題して講演いただきました(写真3)。電子走査式の二重偏波のフェーズドアレイ気象レーダの開発と、その観測結果についてお話いただきました。この気象レーダにより、局所的な豪雨を引き起こす積乱雲の発生状況を、時間・空間的に高分解能で立体的に観測が可能となり、豪雨を30分以上前に予測できた実例を示されました。観測した降雨の状態を立体的に可視化して、防災へつなげる取り組みは世界的にも注目されています。



写真1 一種研の会場  
(大阪大学中之島センター、隣の大阪中之島美術館の彫刻「SHIP'S CAT」と一緒に撮影)



写真2 IEEE AP-S Kansai Joint Chapter 特別講演  
(広島工大 丸山先生)



写真3 AP研チュートリアル講演  
(大阪大 牛尾先生)

## 【2】 海外二種研・国際会議の開催案内

投稿締切が近づいている海外二種研、国際会議のお知らせです。皆様ふるってご参加ください。

### ◆AWAP 2026 (Asian Workshop on Antennas and Propagation 2026)

2026年6月17日(水)～19日(金)にソウルで開催されます。

ウェブサイト

<https://sites.google.com/view/awap-2026/home>

主なスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>Submission deadline: 5月4日</li> <li>Notification of acceptance: 5月18日</li> <li>Early-bird registration deadline: 5月25日</li> </ul>
----------	---

◆MJWRT 2026 (2026 Malaysia-Japan Workshop on Radio Technology)

2026年8月4日(水)~6日(金)にマレーシアのコタキナバルで開催されます。

ウェブサイト	<a href="https://mjwrt2026.apmttemc.org/">https://mjwrt2026.apmttemc.org/</a>
主なスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>Submission deadline: 6月1日</li> <li>Notification of acceptance: 6月15日</li> <li>Registration deadline: 7月1日</li> </ul>

◆iwEM 2026 (2026 IEEE International Workshop on Electromagnetics: Applications and Student Innovation Competition)

2026年8月26日(水)~28日(金)に東京農工大で開催されます。

ウェブサイト	<a href="https://attend.ieee.org/iwem-2026/">https://attend.ieee.org/iwem-2026/</a>
主なスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>Submission deadline: 4月26日 ⇒ 5月7日(締切延長されました)</li> <li>Notification of acceptance: 5月26日</li> </ul>

【3】副委員長の戯言

◆中之島

今回のAP研の会場となった大阪大学中之島センターは、二つの川に囲まれた中之島にあり、その周辺はとても魅力的な場所でした。中之島センターの1階のロビーには、歴史展示があり、それによると、中之島は大阪大の創設の地であるとともに、大阪大は緒方洪庵の適塾が原点だったと初めて知りました(写真4)。正面入り口から見える壁には、江戸時代の中之島周辺の古地図があります。当時の中之島は、米などの物資が集まる要所であって、各藩の蔵屋敷が立ち並んでいたそうです。現在でも経済の中心地であり、歴史を感じさせるエリアなので、一度ゆっくり散策してみたいと思いました。



写真4 大阪大中之島センターのエントランス  
(手前には坂口先生、奥の壁には大阪の古地図)

◆AP研発足60周年

ご存じの方も多いと思いますが、AP研は、アンテナ研究専門委員会と電波伝播研究専門委員会が合併し、1966年4月1日に発足しました。そして、先日の2026年4月1日でAP研は60周年を迎えました。AP研では、9月に行われるソサイエティ大会で、AP研60周年記念セッションを企画しています。このセッションでは、60周年にちなんで還暦に近い方6名に講演をお願いしていますので、ご期待ください。ちなみに、ウルトラマンも2026年7月10日に放送開始から60周年を迎えます。現在、大規模な記念プロジェクトが進行しており、新作テレビシリーズや各種イベント開催などが実施予定だそうです。

◆新入社員

4月と言えば、入学・入社 of 時期です。多くの会社では若い人材の確保が重要課題となっていると思います。メーカーである弊社でも、毎年、新入社員の確保に苦慮しています。弊社では、今年度は20名弱の新卒社員が入社しましたが、海外出身者が30%近くを占めており、今までとは異なる採用傾向となっています。今回入社した海外出身者は皆、日本語に長けていますのでコミュニケーション上問題はあきませんが、弊社も遅ればせながら人材の多様化への対応が急務となっています。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 大島 一郎 (電気興業)

E-mail: [ap\\_ac-chair@mail.ieice.org](mailto:ap_ac-chair@mail.ieice.org) (A・P研執行部のメールアドレス)

AP-NET: A・P研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて

A・P研HP: <https://www.ieice.org/cs/ap/>

